

2021(令和3)年度 入学試験問題

東大・医進クラス 2月1日 AM

適性検査 I

注 意

- (1) 指示があるまで表紙を開かないこと。
- (2) 問題および解答用紙の両方に受験番号・座席番号を記入すること。
- (3) 声を出して読まないこと。
- (4) 解答は解答用紙の所定の欄らんに記入すること。

受験番号	
座席番号	

1

次の文章を読んで、あとの問題に答えなさい。

「勉強する」というのは、ひとことと言うと「生き延びる力」身に付けることです。学校の成績を上げることではありません。「成績が良い」というのは「生き延びる力」の一つではありませんけれど、ごく一部にすぎません。「勉強ばかりしているせいで性格が悪い」とか「勉強ばかりしたせいで病気になる」ということになる、と、「成績が良い」ことが「生き延びる力」をむしろ弱めていることになりません。

では、「生き延びる力」とはなんのことでしょう？

とりあえず、原始時代の人々の暮らしを想像してみてください。動物をつかまえたり、木の実を取って食べたりしていたころの人たちのことです。そんな時代でも、やはり子どもたちを「教育」するといふしくみはあつたはずですよ。今のようないたところではなかったにせよ、「学校」のようなものはあつたはずですよ。

かりをする集団であれば、ある程度の年れいに達した子どもたちに「かりのしかた」を教える。どうやってえものを採すのか、どうやって矢を射るのか、どうやって危険を察知するのか、などなどを教える。魚をつることで食料を得ている集団なら魚のつり方を教える。木の実の採取をしている集団

なら木の実の探し方を、畑を作って食べ物を作り出している集団なら農耕のしかたを、それぞれ子どもたちは教えられたはずですよ。

でも、それだけじゃありません。どうやって仲間と協力し合つて生きるか、どうやって結こん相手を見つけて自分の家族をつくり出すか、どうやって部族の伝統である食文化や宗教を次の世代に伝えるか、そういったこともまた、どれも「生き延びる」ために、どうしても学んでおかなければならないことでした。

仲間の中には幼児も老人も病人もいます。その人たちは健康で能力の高い人たちはほどには働けない。その場合は、健康な人たちが「多めに働いて」これらの足りない分を補う。当然のことです。自分だって昔は幼児だったし、いずれ老人になるし、ケガをしたり病気をしても働けなくなることだって何度もあるはずだからです。働けない人は、「そうであるかもしれない自分自身」なのです。健康で働きのある人たちが、弱いものを支えるのは当然のこと。そういう考え方ができるのも「生き延びる力」の大切な一部ですよ。

今でもそれは変わりません。子どもたちが勉強するのは「生き延びる力」を身に付けるためです。その社会ではどういふ能力が「食料を得る」ために求められているのかをまず知り、それを学

ぶ。これは当然ですね。でも、それだけではありません。仲間をつくること、結こんすること、伝統を受けついで、次世代に伝えること、集団の中の弱いものたちを支えんとすること、これらはすべて「生き延びる」ためにどうしても学ぶ必要があることです。

でも、今の学校では「食料を得るため」の能力を学ぶことだけが求められています。今の社会では「食料を得る」ためには食べ物をお金で買うわけですから、それは「お金をかせぐ」とこと同じだと見なされる。ですから、みんなが「お金をかせぐ」ためにどうすればいいのか、それだけを学ぼうとする。

そういう勉強のしかたもあつて当然です。それはかりをする部族で子どもたちがまずかりの技術を身に付けようとするのと変わりません。でも、それだけではダメなんです。生き延びるためには、どうやって仲間たちと支え合うのか、どうやって協力し合うのか、そのための技術も同時に、同じくらいに熱意を持つて学ばなければならぬ。

すぐく目のいい人は遠くを見通して、その力をみんなの役に立てることが出来ます。力のある人はその力を使ってみんなが持ち上げられないものを運ぶことが出来ます。鼻のいい人は何かかかっているときにいち早く警告を発することが出来ます。一人ひと

りの能力はそういうふうにな「みんな」分かち合つて、使うものです。目のいい人たちだけを集めて、「だれがいちばん目がいいか」を競うようなことは意味ないんです。勉強だつてそうです。数学ができる人は数学が必要なときに、音楽ができる人は音楽が必要なときに、体育ができる人は高い運動能力が必要なときに、みんなのためにそれを使う。ある分野で高い能力を持っている人は、それをほかの人たちのために使う。それが仲間の支え合い、協力し合つて生きるということです。

今の学校で「どうして勉強しなくちゃいけないの？」という間に大人たちがうまく答えられないのは、勉強すべきことの中に「仲間と助け合つて生きていく技術」を入れるのを忘れているからです。そんな技術なんかなくてもいいと思つている。自分のことだけ考えていればいいと思つている。

それにはそれなりの理由があります。ボクたちの生きているこの社会が大変に安全で、豊かな社会だからです。欲しいものはお金を出せばだいたい買えます。病気になるれば病院に行けばいい。老人になったら有料の老人ホームに行けばいい。犯罪者は警察に取りしまつてもらえばいい。ご飯はできたものを売っているし、そうじだつて洗たくだつて、お金を出せばやつてくれる人がいます。だから、自分はただお金をかせぐことだけをしていればいい。

ある意味で、とても「よくできた社会」なのです。でも、そのせいで、「生き延びるための力」の大部分は「なくてもいい」ことになった。とくに、「仲間と支え合って、協力し合って生きていく技術」なんかいらないう人が増えてきました。自分さえよければ、それでいいんだと思っっている。

「勉強することになんの意味があるの？」と言う人は実は「勉強することは自分にとってなんの意味があるの？」というふうに問いを立てているのです。「自分にとっての意味」だけを考えて、それで「だったら、勉強なんかしなくてもいいじゃないか」と言い出している。

お金をかせぐために勉強するのなら、「お金なんかいらぬ」という人と、「勉強以外のしかたでお金をかせぐから、いいよ」という人たちはそもそも学校に来る理由がありません。本当にそうなの。来ている人もかなりの部分はいやいや来ているのです。だから、授業中も、先生の話なんか聞かないで、ぼんやりほかのことを考えている。宿題は友達のものを書いてます。

原始時代に「かりの学校」に通っていた子どもたちはどんなふうだったでしょう。マンモスのかり方とか、オオカミと出会ったときの対処のしかたというような「教科」を教えているときに、居ねわりしている子どもとか、となりの子とおしゃべりしている子どもがいたら、「先生」はどうしたでしょう？

② たぶんずいぶ

ん厳しくしかったと思います。「今ちゃんと聞いておかないと、いざというときに死ぬぞ」と言っただけです。おこった「先生」はその子どものことだけを考えていたわけじゃありません。一人や二人はそういうぼんやりした子どもが出てくることはしかたがない。でも、子どもたちの過半数が「かりの勉強」をちゃんとしなかつたせいで、かれらが大人になったときにはもうだれもちゃんとかがりができなくなつてしまつたらどうなるでしょう。そうなつたら、たぶん、みんながうえ、いがみ合い、わずかなものをうばい合いようになるでしょう。弱いものから順番に死に始め、やがて集団は消えてしまふでしょう。20年後30年後のその様子がありありと想像できるからこそ、「先生」は「かりの授業」をさぼる子どもを「ちゃんと勉強しなさい！」としっかりつけたのです。

学校というのはそういうものなのです。今キミたちがちゃんと勉強して、生きる力を身に付けてくれないと、やがて20年後か30年後に、キミたちの子どもたちの世代はもう豊かでもないし、安全でもない社会で、うえることやうばわれることをおそれながら暮らすことになる。勉強するのは「自分のため」じゃない。同じ集団に属する「未来の世代」のためだよ、と。本当は親たちも先生たちも子どもに向かつてそう言わなければならないのだとボクは思います。

(内田樹『子どもはなぜ勉強しなくちゃいけないの?』より)

〔問題1〕

——線①「生き延びる力を身に付ける」とありますが、「生き延びる力」について筆者はどのように考えていますか。

次の説明文の

A

～

D

言葉を、本文中から指定の字数で抜き出しなさい。

A (七字)

の能力と、

B (九字)

生きてい

く技術が「生き延びる力」であるが、今は欲しいものはお金を出せば手に入る C (三字) 社会であるため、後者の技術は不要であり、 D (五字) だけ考えていればいいと思っている大人が多い。

〔問題2〕

——線②「たぶんずいぶん厳しくしかったと思います。」とありますが、それはなぜでしょうか。本文の言葉を使って、六十字以上八十字以内で説明しなさい。

なお、「や。や」なども、それぞれ字数に数え、一まずめから書き始めること。

〔問題3〕

——線X「勉強することになんの意味があるの？」とありますが、あなた自身は「勉強することの意味」についてどのように考えますか。本文に書いてあることをふまえ、「手順」と「きまり」にしたがって、四百字以上五百字以内で説明しなさい。

〔手順〕

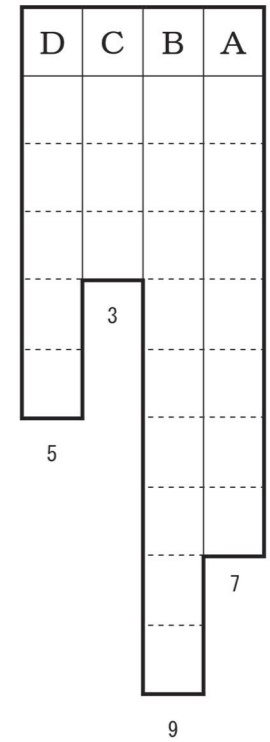
- 1 本文に書かれている「勉強することの意味」について説明する。
- 2 あなたが考える「勉強することの意味」について、あなたの経験や具体例をまじえて説明する。
- 3 2をふまえて、あなたがこれからのような勉強をしていくつもりかを書く。

〔きまり〕

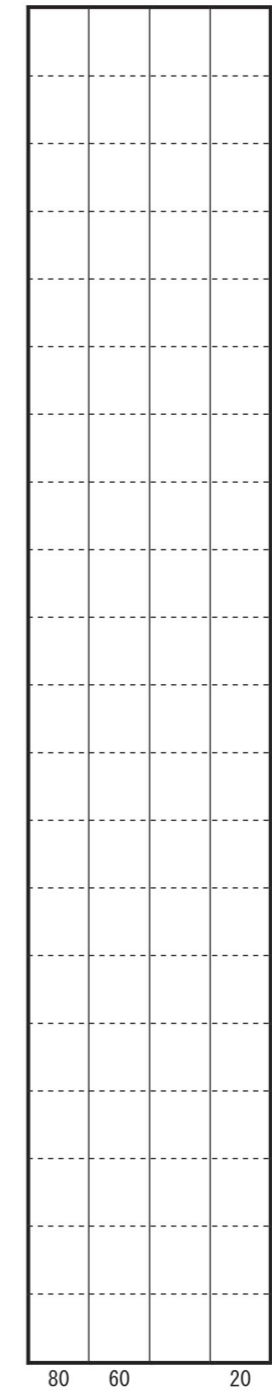
- 題名は書きません。
- 最初の行から書き始めます。
- 各段落の最初の字は一字下げて書きます。
- 行をかえるのは、段落をかえるときだけとします。
- 「や。や」などもそれぞれ字数に数えます。これらの記号が行の先頭に来るときには、前の行の最後の字と同じまずめに書きます。(まずめの下に書いてもかまいません。)
- 「と」が続く場合には、同じまずめに書いてもかまいません。この場合、「」で一字と数えます。
- 段落をかえたときの残りのまずめは、字数として数えられます。
- 最後の段落の残りのまずめは、字数として数えられません。

1

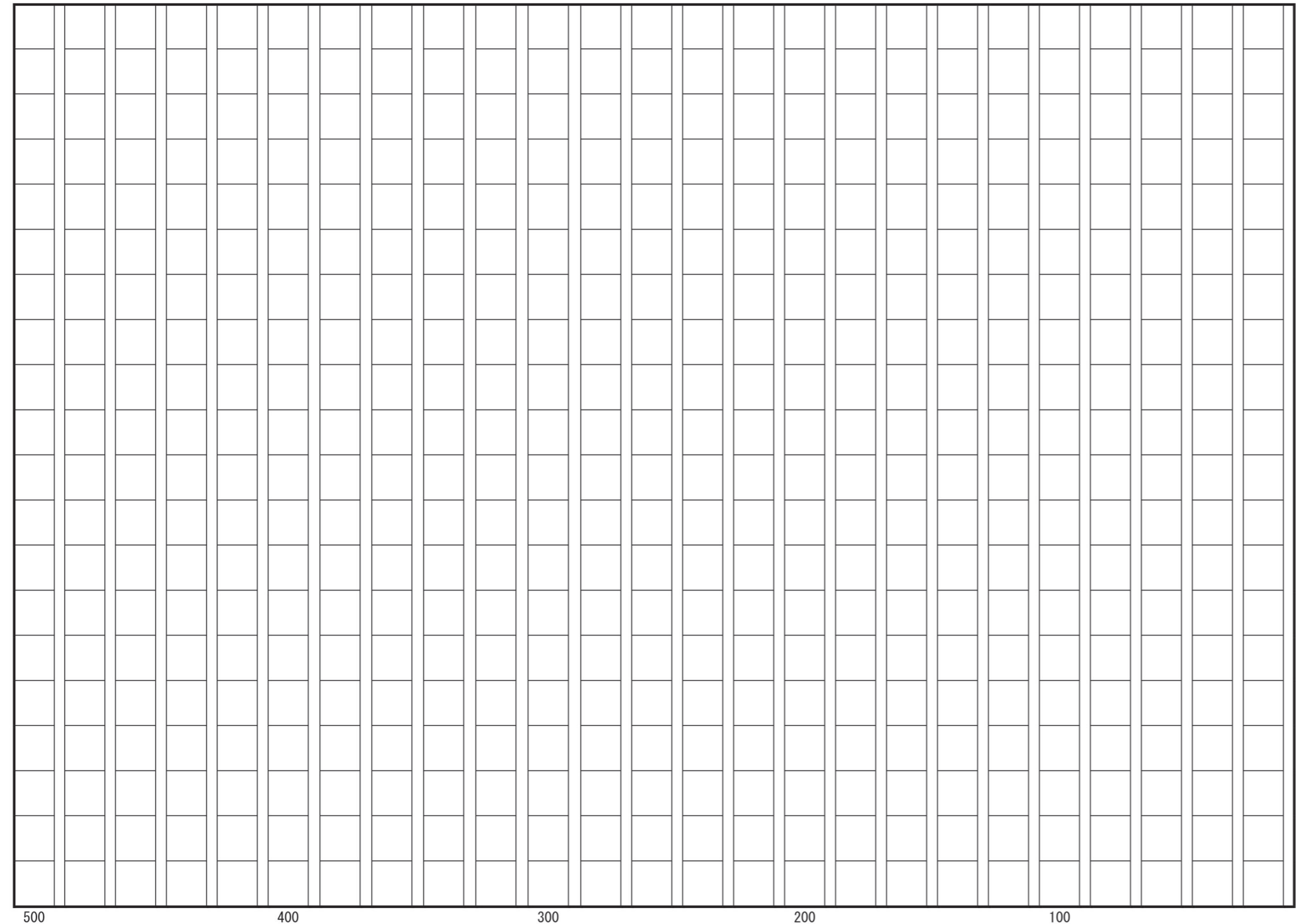
【問題1】



【問題2】



【問題3】



受験番号

座席番号

総得点
/100

1

〔問題1〕

D	C	B	A
自	豊	仲	食
分	か	間	料
の	な	と	を
こ	3	協	得
と	5	力	る
		し	た
		合	め
		っ	7
		て	
			9

〔問題2〕

と	い	き	勉
が	合	な	強
想	う	い	を
像	よ	大	ち
さ	う	人	ゃ
れ	に	が	ん
る	な	増	と
た	り	え	し
め	、	る	な
	集	と	か
	団	、	っ
	が	少	た
	消	な	せ
	滅	い	い
	し	食	で
	て	べ	、
	し	物	か
	ま	を	り
	う	う	が
	こ	ば	で

〔問題3〕

い	れ	が	た		方	げ	協	た	原	突	チ	強	薬	ち	が		い	力	て	き	仲	る	び	
と	か	本	た	こ	法	で	力	か	因	然	ン	す	が	に	流	私	る	す	い	な	間	。	る	本
い	ら	当	め	の	が	、	し	も	が	世	を	る	研	に	行	は	。	る	の	か	と	始	文	
う	は	の	だ	よ	見	様	て	し	、	界	作	人	究	な	し	理		こ	物	っ	助	時	で	
気	、	目	け	う	っ	々	、	れ	ウ	中	る	が	さ	っ	て	科		と	が	た	け	の	は	
持	い	的	で	に	か	な	色	な	イ	の	こ	い	れ	。	か	が		を	手	が	合	代	、	
ち	っ	な	な	、	っ	病	々	い	ル	人	と	な	て	現	ら	得		必	に	、	わ	の	勉	
を	か	の	、	勉	た	気	な	。	ス	々	も	く	い	在	、	意		要	入	今	な	人	強	
持	誰	か	ま	強	り	の	研	今	で	の	で	な	る	、	目	科		と	る	の	け	々	す	
っ	か	も	わ	す	し	正	究	ま	あ	具	き	っ	が	世	っ	目		思	の	社	れ	は	と	
て	の	し	り	る	た	体	や	で	る	合	な	た	、	界	と	だ		わ	で	会	ば	食	い	
勉	役	れ	の	と	の	が	実	に	こ	が	い	ら	世	中	頑	が		な	、	は	生	料	う	
強	に	な	人	い	だ	わ	験	た	と	悪	。	感	中	で	張	、		人	ま	お	き	を	こ	
し	立	い	達	こ	と	か	を	く	も	く	そ	染	か	ウ	ろ	コ		が	わ	金	延	得	と	
て	っ	と	を	と	思	っ	し	さ	わ	な	れ	を	ら	イ	う	ロ		増	り	が	び	る	だ	
い	か	思	助	は	う	た	て	ん	か	っ	ど	防	理	ル	と	ナ		え	の	あ	る	以	と	
き	も	っ	け	自	。	り	き	の	ら	た	こ	ろ	科	ス	い	ウ		て	人	れ	こ	外	述	
た	し	た	る	分		、	た	人	な	こ	ろ	ぐ	を	に	イ	イ		き	々	ば	と	に	べ	
い	れ	。こ	と	の		治	お	達	か	と	か	ワ	勉	効	ル	ス		て	と	た	が	も	て	
。な	こ	と			す	か	か	が	っ	の	、	ク	勉	く	持	ス		て	協	い	で	、	延	

受験番号

座席番号

総得点
/100